

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	10-4	
PDCA	主要事業名	防災広場整備事業	部課名	総務部防災安全課	担当 内線	羽山 288	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 707,639 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.53					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 大規模地震が発生した場合、被災初期には傷病者搬送用ヘリポート、中期には自衛隊等の宿营地、後期には被災者用の仮設住宅建築場所として、また、一角にはトラックが横付けできる大型防災倉庫を備えるなど、幅広く活用できる防災広場を建設する。					
		事業目的： 災害時医療拠点となる新病院、物資集積拠点となる知多南部総合卸売市場と合せて一体的な防災拠点が整備でき、市の災害対応力が強化できる。					
		事業内容： 収用した事業敷地の造成工事を行う。防災倉庫の設計業務委託を行う。					
		問題点・課題等： 現在の備蓄倉庫では、コロナ禍を受けた備蓄品の増加による容量不足、大型貨物車両を横付けできない搬出入環境が課題となっている。					
	予算額	主要事業とする理由					
	113,265 千円	大規模災害時の被害を最小限に抑え、災害に強いまち形成のため、防災拠点の整備強化事業は直結事業であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 113,265 千円	災害時医療拠点・受援物資集積拠点と一体的な防災拠点が整備されることで、市の災害対応力が強化される。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	土地の造成と倉庫の建築設計の実施。						
その他 0 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用	
	110,730 千円	令和7年度内の防災広場整備及び防災倉庫建設に向け、造成工事と倉庫の建築設計を行った。					
		成果指標					
		土地の造成と倉庫の建築設計の実施。					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 事業計画に基づき、造成工事と倉庫の建築設計を行った。 供用開始に向けて、国、県等関係機関に対する手続きや届出が多いため、漏れや遅滞がないよう注意する必要がある。 また、工事担当課との進捗確認や隣地が進む病院建設の担当課と調整を密に行うことで、工事に伴う問題を回避しなければならない。					
	今後の事業の方向性	拡充推進 防災広場の整備を進めヘリポートを完成するとともに、広場内に防災倉庫を建設する。ソフト面では、フォークリフト購入及びその操作免許取得を行い、倉庫建設後の円滑な運用に繋げる。また、国、県、工事担当課等、関係部署と密に連携を取りながら円滑な事業の推進を図る。					
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない				